

5 郷土の歴史や文化の継承

基本目標3 受け継がれてきた歴史や文化の継承とふるさとに愛着と誇りを持つ心の育成

地域に受け継がれてきた歴史や文化を次世代につなげていくためにも、文化財の保護や幅広い活用に取り組みます。また、それらを積極的に活用した取組を充実することで、ふるさとに愛着と誇りをもつ心を育みます。

【令和元年度当初予算の主な事業】

(1) 魅力ある郷土の歴史や文化の学習と次世代への継承

○ ふるさと学習の推進（学校教育振興一般事業） 44万3千円（◎46万3千円）

子どもたちの「ふるさと廿日市」への愛着と誇りを育むため、全小・中学校において、子どもたちが、郷土の魅力ある歴史、文化などを学ぶ「ふるさと学習」に取り組みます。

○ 津和野町との交流事業の実施（文化振興事業） 60万2千円

津和野藩主が参勤交代などの往来に際し、廿日市に津和野藩御船屋敷を設けてから2020年に400年を迎えるため、島根県津和野町や関係団体とのつながり・連携関係を構築するとともに、記念の交流事業に係る準備を行います。

○ 文化財・伝統芸能の保存・継承（文化財保存・保護事業）

2,567万2千円（◎68万8千円）

地域の魅力ある伝統・文化を守り、次世代につなげていくために、神楽等地域の伝統芸能を継承する活動を支援します。また、国指定重要文化財・国宝の保存を図るため、厳島神社の保存修理に要する経費の一部を補助します。

○ 宮島地域の歴史的町並みの保存（伝統的建造物群保存推進事業）

2,845万5千円（◎875万5千円）

厳島神社門前町として宮島地域の歴史的町並みを保存・復元・継承するため、保存計画の策定・保存地区範囲の決定等を行うとともに、伝統的建造物群保存地区制度を導入し、町並み保全に向けた取り組みを推進します。